

## 10. 環境啓発活動等のイベント開催実績

東京湾の海域及び流域河川の水質改善等に関する普及啓発活動を含むイベントは、表 10-1 のとおり、13 件の環境啓発活動等のイベントが開催されました。  
(募集時に対象期間とした 7 月～10 月外のものも含まれます。)

表 10-1 環境啓発活動の開催実績 (実施日順)

報告書 番号	開催場所	実施日	活動内容等	主催
1	荒川区	5 月 7 日	水辺・水上でのリスク 回避行動の講習会	川はともだち
2	旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所	6 月 1 日～ 6 月 30 日	製造所環境月間の取り 組み	旭化成株式会社 製造統括本部川崎製造所 環境安全部
3	石神井川 (東伏見橋 から下野谷橋まで)	6 月 11 日、 10 月 1 日	石神井川の清掃	都立保谷高校
4	東亜合成株式会社 川崎工場	6 月 20 日	構内一斉清掃	東亜合成株式会社 川崎工場
5	株式会社日本触媒 川崎製造所	6 月 24 日	2022 年度環境大会	株式会社日本触媒 川崎製造所
6	富津市下州海岸	6 月 25 日	富津海岸清掃活動	日本製鉄株式会社 技術開発本部
7	葛西海浜公園 西なぎさ	7 月 9 日、 7 月 30 日、 8 月 20 日、 9 月 10 日	西なぎさ発：東京里海 エイド	DEXTE・K
8	お台場海浜公園	7 月 30 日～ 8 月 7 日	お台場プラージュ (海水浴) 2022	港区、お台場プラージュ地 域連携チーム
9	調布市多摩川自然情 報館	7 月 31 日 8 月 11 日	多摩川の魚観察会	調布市多摩川自然情報館
10	葛西海浜公園 西なぎさ	7 月 17 日～ 8 月 24 日	海水浴体験	NPO 法人ふるさと東京を 考える実行委員会
11	葛西海浜公園 西なぎさ	7 月 17 日～ 8 月 28 日の日 曜日と祝日 の 9 日間	里海まつり	NPO 法人ふるさと東京を 考える実行委員会
12	横浜港大さん橋ホー ルおよび周辺海上	10 月 15 日～ 10 月 16 日	東京湾大感謝祭 2022	東京湾大感謝祭実行委員会
13	習志野市茜浜海浜公 園周辺・親水護岸	11 月 20 日	習志野市護岸の清掃活 動とゴミの種類調査	習志野の海を守る会

## イベントレポート 1

主催機関	イベント名
川はともだち	水辺・水上でのリスク回避行動の講習会

### 【イベント概要】

水辺・水上でのリスク回避行動の講習会。(RACに講師依頼)

### 【開催時期、参加人数】

令和4年5月7日(土)

聴講者15名

### 【その他】

ボート進水会は、5月、8月、11月に企画し、諸準備を進めたが、コロナ禍で延期を余儀なくされ、来年春に開催予定。

## イベントレポート 2

主催機関	イベント名
旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造 所 環境安全部	製造所環境月間の取り組み

### 【イベント概要】

環境月間に合わせて、製造所内で各種取り組みを実施した。

### 【開催時期】

令和4年6月1日（水）～6月30日（木）

### 【場所】

旭化成(株)製造統括本部川崎製造所内の各部署

### 【主なイベント内容】

製造所内の各部署で下記1～3の活動を実施した。活動の結果は「活動整理表」にまとめ、環境安全部に提出した。

#### <活動内容>

1. 公害発生源施設及び公害防止施設の総点検
2. 従業員への環境研修及び啓発  
(部場における環境関連設備等に関する教育・周知、トラブル時の対応訓練、等)
3. 施設内・周辺の美化及び環境保全対策  
(排水溝の清掃、通路の清掃、施設内の除草、配水管の清掃)

### イベントレポート 3

主催機関	イベント名
都立保谷高校 (協力) 西東京市環境保全課	石神井川の清掃

#### 【イベント概要】

都立保谷高校の生徒が東伏見橋から下野谷橋まで川の中を歩きながらゴミ拾いをしました。

#### 【開催時期】

令和4年6月11日(土)、10月1日(土)

#### 【場所】

石神井川(東伏見橋から下野谷橋まで)

#### 【主なイベント内容】

都立保谷高校の生徒約40名が東伏見橋から下野谷橋まで川の中を歩きながらゴミ拾いを行いました。コロナウイルス感染防止のため、マスク着用の上、密にならないよう注意しながら行いました。

#### イベントレポート4

主催機関	イベント名
東亜合成株式会社 川崎工場	構内一斉清掃

#### 【イベント概要】

敷地境界線付近、工場内通路および緑地の除草、ゴミ拾い、防液堰内の雑草抜取など。

#### 【開催時期】

令和4年6月20日（月）

#### 【場所】

東亜合成株式会社川崎工場

## イベントレポート 5

主催機関	イベント名
株式会社日本触媒 川崎製造所	2022年度 環境大会

### 【イベント概要】

製造所で従業員、協力会社員を対象に環境大会を開催し、183名が参加した。

### 【開催時期】

令和4年6月24日（金）

### 【場所】

自社（千鳥工場をメイン会場として、千鳥工場と浮島工場を Teams で繋ぎ、会場を分散して開催）

### 【主なイベント内容】

従業員及び協力会社員に製造所の環境負荷量推移や環境関連の規制動向等について説明した。

## イベントレポート 6

主催機関	イベント名
日本製鉄㈱技術開発本部	富津海岸清掃活動

### 【イベント概要】

日本製鉄㈱技術開発本部富津地区の勤務者から有志を募り、地元である富津市下洲海岸の清掃活動を実施しました。

### 【開催時期】

令和4年6月25日(土)

### 【場所】

富津市下洲海岸

### 【主なイベント内容】

日本製鉄㈱技術開発本部富津地区の勤務者72名が参加して、10時～11時まで清掃活動実施。海岸のごみが一掃され、美しい砂浜になりました。

(活動状況)



(回収されたごみ)



## イベントレポート7

主催機関	イベント名
DEXTE-K	西なぎさ発：東京里海エイド

### 【イベント概要】

葛西海浜公園／西なぎさにおける漂着ごみのクリーンアップ活動。

### 【開催時期】

令和4年7月9日（土）、7月30日（土）、8月20日（土）、  
9月10日（土）、10月15日（土）、10月22日（土）

### 【場所】

葛西海浜公園／西なぎさ

### 【主なイベント内容】

東京都および近郊に住む一般市民を対象に募集をおこない、葛西干潟に漂着するごみのクリーンアップ活動を実施。活動前に西なぎさの歴史やロケーション上の特異性、生息する生物や多様性の実態などの話をおこない、活動後には収集した漂着ごみを全員で確認しながら振り返りを実施した。

7月30日（土）の活動は、臨時開催でした。関東地方北部にゲリラ豪雨が連日降った後に漂着ごみがたくさん漂着したためです。

### 【活動成果】

・7/9（土）参加者数：47名（大人：43名、子ども：4名）収集したごみ（45ℓごみ袋換算）：12袋

飲料ペットボトル：54、ビン類：14、缶類：8、危険ごみ：2、粗大ごみ：17他

・7/30（土）参加者数：28名（大人：26名、子ども：2名）収集したごみ（45ℓごみ袋換算）：33袋

ペットボトル：367、ビン類：167、缶類：116、危険ごみ：10、粗大ごみ：25他

・8/20（土）参加者数：34名（大人：30名、子ども：4名）収集したごみ（45ℓごみ袋換算）：24袋

飲料ペットボトル：45、ビン類：15、缶類：7、危険ごみ：8、粗大ごみ：20他

・9/10（土）参加者数：31名（大人：31名、子ども：0名）収集したごみ（45ℓごみ袋換算）：6袋

飲料ペットボトル：50、ビン類：12、缶類：9、危険ごみ：5、粗大ごみ：30他

・10/15（土）参加者数：62名（大人：52名、子ども：10名）収集したごみ（45ℓごみ袋換算）：10袋

飲料ペットボトル：67、ビン類：12、缶類：9、危険ごみ：6、粗大ごみ：30他



・10/22（土）参加者数：41名（大人：38名、こども：3名）収集したごみ（45ℓごみ袋換算）：7袋

飲料ペットボトル：97、ビン類：6、缶類：9、危険ごみ：5、粗大ごみ：20他



## イベントレポート 8

主催機関	イベント名
港区、お台場プラージュ 地域連携チーム	お台場プラージュ（海水浴）2022

### 【イベント概要】

東京 2020 大会のレガシーとして「泳げる海、お台場」の実現をめざす取組の一環として、「泳げるセーナ」復活をめざすパリ市と連携した海水浴イベント「お台場プラージュ」を 3 年ぶりにお台場海浜公園のビーチで開催しました。

セーナ川沿いでバカンス気分を楽しめるイベント「パリ・プラージュ」の雰囲気をお台場に再現し、パリ市や港区の東京 2020 大会での取組を PR するブースを設置しました。

台場地区の地域住民で構成する「お台場プラージュ地域連携チーム」メンバーやボランティアスタッフの協力のもと、安全・安心なイベント運営に努めました。

9 日間で、13,000 名（うち遊泳者は約 4,900 名）を超える方に来場いただきました。

### 【開催期間】

令和 4 年 7 月 30 日（土）～ 8 月 7 日（日）

### 【場所】

都立お台場海浜公園（台場一丁目 4 番）

### 【主催】

港区、お台場プラージュ地域連携チーム

### 【後援】

東京都、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会

### 【協力】

パリ市、東京港埠頭株式会社、港区トライアスロン連合、青少年対策お台場地区委員会、港区教育委員会事務局、港区立小中一貫教育校お台場学園、港区立台場児童館等

### 【来場者数】

13,000 名（うち遊泳者は約 4,900 名）／9 日間

### 【広報】

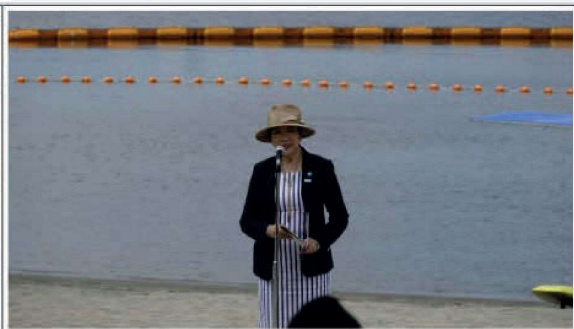
[https://www.city.minato.tokyo.jp/shiba-koudaibatan/event/odaiba\\_plage2022.html](https://www.city.minato.tokyo.jp/shiba-koudaibatan/event/odaiba_plage2022.html)

【お台場プラージュの様子（抜粋）】

オープニングセレモニー



武井雅昭港区長



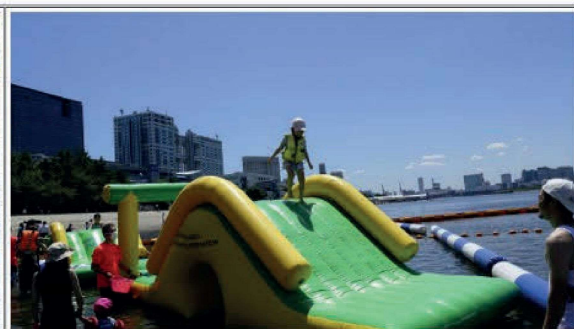
小池百合子東京都知事



フィリップ・セトン駐日フランス大使



子ども向けアトラクション



地引網体験



## イベントレポート 9




主催機関	イベント名
調布市多摩川自然情報館 (運営受託事業者株式会社セルコ)	7月、8月の月別イベント多摩川の魚観察会

内容は実施報告書のとおり。

7月の月別イベント実施報告書

タイトル	多摩川の魚観察会
実施日時	令和4年7月31日(日)9時30分～12時00分
参加者数	小学生10人, 大人12人
配布資料	多摩川の魚観察会(配布資料)
講師	君塚芳輝(淡水魚類研究者)
講座内容	<p>魚の先生の解説を聞き, 先生と一緒に多摩川で魚やエビをタモ網で探して, その名前を調べました。また, 投網の実演を行いました。</p> <p>〈採取した生き物〉アユ, オイカワ, コクチバス, スゴモロコ, スミウキゴリ, タモロコ, ヌマチチブ, マルタウグイ 全8種</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>タモ網の実演</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>投網の実演</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>採集の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>採集したオイカワ</p> </div> </div>
参加者の感想	<p>【多摩川自然情報館でこれからやってみたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫捕り</li> <li>・爬虫類、両生類の紹介</li> </ul>
担当解説員 (敬称略)	君塚芳輝(講師), 講師付き添い三人(講師補助), 竹内(全体進行・陸上監視・写真撮影), 石川・鎌田(会場設置・河川内監視), 福田(会場設置・採取補助), 浅野(受け付け案内・写真撮影・河川内監視), 紺野: 情報館内(水位監視・警報確認), インターン実習生1人(監視補助他)

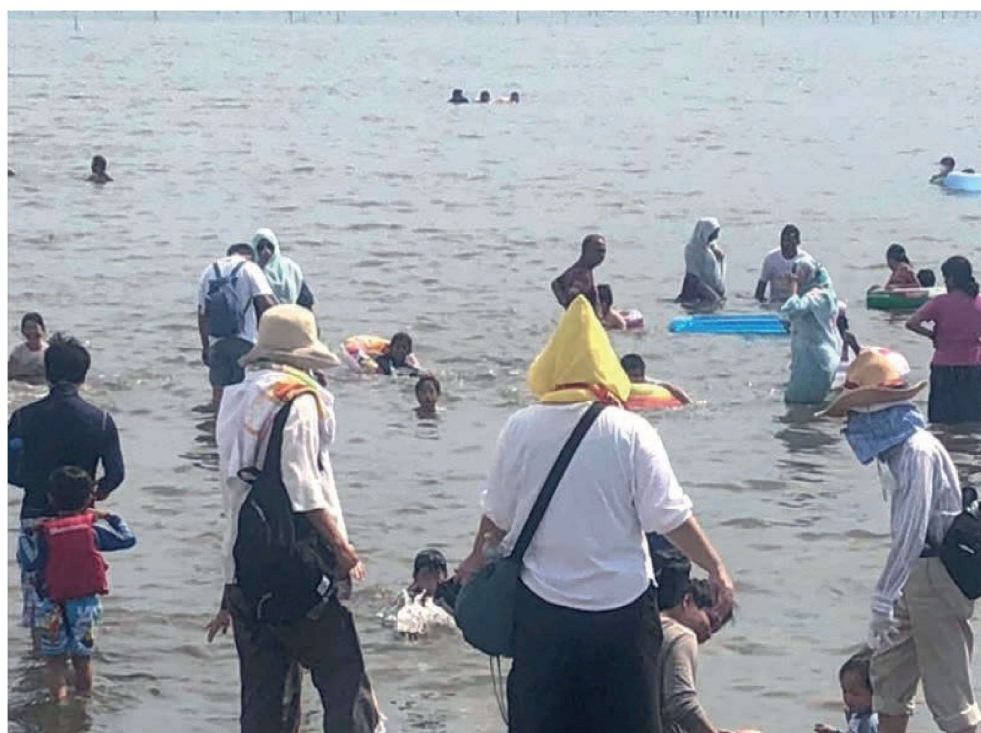
8月の月別イベント実施報告書

タイトル	多摩川の魚観察会
実施日時	令和4年8月11日（木・祝）9時30分～12時00分
参加者数	小学生11人，大人10人，付き添いの幼児1人
配布資料	多摩川の魚観察会（配布資料）
講師	君塚芳輝（淡水魚類研究者）
講座内容	<p>魚の先生の解説を聞き，先生と一緒に多摩川で魚やエビをタモ網で探して，その名前を調べました。また，投網の実演を行いました。</p> <p>〈採取した生き物〉アブラハヤ，アユ，ウキゴリ，オイカワ，スミウキゴリ，デメモロコ，ニゴイ，ヌマチチブ，マルタウグイ 全9種</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>タモ網の実演</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>採集の様子</p> </div> </div>
	 <p>採集したニゴイ</p>
参加者の感想	<p>【多摩川自然情報館でこれからやってみたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫捕り</li> <li>・爬虫類、両生類の紹介</li> </ul>
担当解説員（敬称略）	君塚芳輝（講師），講師付き添い三人（講師補助），竹内（全体進行・陸上監視・写真撮影），石川・鎌田（会場設置・河川内監視），福田（会場設置・採取補助），浅野（受け付け案内・写真撮影・河川内監視），紺野：情報館内（水位監視・警報確認），インターン実習生2人（監視補助他）

## イベントレポート10

主催機関	イベント名
NPO 法人ふるさと東京 を考える実行委員会	海水浴体験

夏休み期間の7月17日～8月28日までの43日間、10時～16時まで葛西海浜公園西なぎさにおいて、海水浴体験を実施し、6万8千人が海水浴を楽しんだ。



イベントレポート11

主催機関	イベント名
NPO 法人ふるさと東京 を考える実行委員会	里海まつり

夏休み期間の7月17日～8月28日までの日曜日と祝日の9日間、葛西海浜公園西なぎさにおいて、以下の表に掲げる様々な海遊びを行い、千名以上が参加した。

里海まつり参加者一覧(体験者数 ※保護者を除く)

	投網 体験 定員 30名	釣り 体験 定員 10組	生物解 説 定員 30名	巻き 体験 定員 30名	めぼり 体験 定員 50名	海での泳ぎ 方教室 定員15名	スイカ 割り 定員 50名or 20名	ペカ舟 定員 50名	紙芝居 定員 30名	水辺の安 全教室 定員30名	レスキュー ボード体験 定員30名	ビーチ クリーン	石笛 演奏	カヌー 体験	バリアフ リー ビーチ	計
7月17日	44		44						20							108
7月18日							50	50	50							150
7月24日						20			50			88			3	161
7月31日	35		38	32					38							143
8月7日		10				14	20		32							76
8月11日	43		42		56											141
8月14日	43		34		52											129
8月21日		43								20	35			63		161
8月28日							17	22				37	40			116
計	165	53	158	32	108	34	87	72	190	20	35	125	40	63	3	1185



## イベントレポート 12

主催機関	イベント名
東京湾大感謝祭実行委員会	東京湾大感謝祭 2022

### 【イベント概要】

東京湾大感謝祭は、市民や企業、団体と国や自治体がともに、海の再生やライフスタイルシフトのあり方を考え、行動するきっかけを提供する場として、2013年秋に初開催されました。その後、横浜赤レンガ倉庫とその周辺海上を舞台に開催され、多くの市民や企業、団体、国、自治体の関係者が参加しているイベントです。

東京湾大感謝祭 2022 は、3年ぶりの対面開催となりました。東京湾再生のための行動計画改定に向けて「海にいいこと、やさしいこと、はじめよう！」をテーマに、ステージでは全10プログラムを、展示企画では全3企画を、会場イベントでは全3プログラムを実施しました。

### 【開催期間】

令和4年10月15日（土）、16日（日）

### 【場所】

横浜港大さん橋ホールおよび周辺海上

### 【主催】

東京湾大感謝祭実行委員会

### 【共催】

国土交通省関東地方整備局、横浜市、東京湾再生官民連携フォーラム、(一財)みなと総合研究財団、東京湾の環境をよくするために行動する会、横浜港ボート天国推進連絡協議会

### 【特別協力】環境省

### 【後援】水産庁

### 【来場者数】

6,572名／2日間

### 【取材】

16社（テレビ3社、ラジオ2社、新聞4社、雑誌2社、その他5社）





### イベントレポート13

主催機関	イベント名
習志野の海を守る会 (NPO 法人さざなみ)	習志野市護岸の清掃活動とゴミの種類調査

#### 【概要】

習志野の海を守る会（NPO 法人さざなみ）スタッフ及び地域住民約40名により海辺の清掃活動、ゴミ調査を行いました。

#### 【開催時期】

令和4年11月20日（日）午前

#### 【場所】

習志野市茜浜海浜公園周辺・親水護岸

#### 【内容】

習志野の親水護岸に漂着した海ゴミおよび陸からの廃棄ごみを回収しました。同時にごみの種類についても分析し、当会の経時的な調査に必要なデータを抽出しました。調査結果は東京湾大感謝祭や国際キャンペーンなどへ出展・提出させて頂いております。



## 11. 用語解説

表 11-1 水質指標について

項目	説明	環境との関連
溶存酸素量 (DO)	<p>水中に溶けている酸素量のこと、酸素供給（大気からの溶解や植物プランクトンを含む藻類による光合成など）と消費（有機物の分解、生物の呼吸など）や移流・拡散のバランスを示します。水中に溶ける酸素量は水温が高くなると減少し、水温 20℃の時に約 9 mg/L で飽和状態となります。底層溶存酸素量（底層 DO）とは海底から 1 m 以内の底層で測定された溶存酸素量のことです。</p>	<p>貧酸素状態が続くと、好気性微生物（酸素を必要とする生物）にかわって嫌気性微生物（酸素を必要としない生物）が増殖するようになります。嫌気性微生物の活動により有機物の腐敗（還元・嫌氣的分解）が起こり、メタンやアンモニア、有害な硫化水素が発生し、悪臭の原因となります。また、溶存酸素濃度が 3 mg/L を切ると魚類を含めた多くの底生生物は生息できなくなり、生物多様性が低下します。</p>
塩分	<p>海水 1 kg 中に溶解している塩化ナトリウムなどを主とした固形物質の全量に相当します（絶対塩分）。海水には非常に多くの物質が溶け込んでおり、絶対塩分を直接測定することは困難なので、精度良く測定できる海水の電気伝導度から換算式を用いて仮想の塩分（実用塩分）を求める方法が一般的です。 ※単位は psu（実用塩分）</p>	<p>海面を通じた降水量と蒸発量の差や、河川水等による淡水流入の影響で変化します。低塩分の海水は密度が小さく、相対的に軽いため、表層に低塩分水が分布すると、底層と表層の海水が混ざりにくくなります。こうなると底層の水へ酸素が供給されにくくなることから底層の貧酸素化に影響します。</p>
①透明度 ②透視度	<p>どちらも水の清濁を表現するための指標です。①は直径 30 cm の白色円盤（セッキ板）を水中に沈め、水面から肉眼で確認できる限界の深さをいい、②は透明な管に試料を入れて上部から透視し、白色の標識盤に書かれた印が初めて明らかに確認できるときの水層の高さをいいます。</p>	<p>①、②ともに値が大きいほど水が澄んでいることを表します。主に①は海や湖沼、②は河川や排水の調査等で使用されます。一般的に、水中に浮遊物質や生物が多くなると値は低下します。ダイビングにおいても透視度という用語を用いますが、これは水平方向に見通せる距離を表したものです。</p>

項目	説明	環境との関連
化学的 酸素 要求量 (COD)	水中の有機物を酸化剤で化学的に酸化する際に消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもので、水中の有機物の分解に必要な酸素の量を表します。	湖沼・海域などの停滞性水域や藻類の繁殖する水域の有機汚濁の指標に用いられます。CODが高い状態が続くと、生物生息環境の多様性が低下し、魚類を含めた底生生物は生息できなくなります。
全窒素 (T-N)	全窒素・全リンは、湖沼や内湾などの閉鎖性水域の富栄養化の指標として用いられています。水中では、窒素・リンは、硝酸・リン酸イオンなどの無機イオンや含窒素・含リン有機物として存在しています。	窒素やリンは、植物の生育に不可欠なものです。過剰な窒素やリンが内湾や湖に流入すると富栄養化が進み、植物プランクトンの異常増殖を引き起こすことがあります。そのため、湖沼におけるアオコや淡水赤潮の発生、内湾における赤潮発生の直接の原因となります。
全リン (T-P)		
クロロ フィル- <i>a</i>	全ての藻類に含まれる光合成色素であることから、水中の植物プランクトン量の指標として用いられます。	

## ○水質汚濁現象について

### ・赤潮（水質指標キーワード：全窒素、全リン、クロロフィル-*a*）

水中に生存している植物プランクトン等が異常に増殖し、水の色が著しく変わる現象です。水の色は原因となるプランクトンの種によって異なり、赤褐色、茶褐色などの色を呈します。赤潮が発生する背景としては、窒素やリンの流入負荷量増加に伴う水域の富栄養化が原因のひとつと指摘されています。大量に発生した赤潮生物は死滅後、微生物によって分解される過程で大量の酸素を消費するため、貧酸素水塊の形成要因のひとつとされています。この他にも、毒性を持つプランクトンによる赤潮は、その水域の生物に直接的に被害を与えることがあります。



写真：千葉港内（平成15年8月11日）



写真：隅田川河口部（平成22年7月5日）

### ・青潮（水質指標キーワード：DO）

富栄養化や有機物による水質汚濁の進んだ内海の底層では、大量発生したプランクトンの死骸が微生物に分解される過程で酸素が消費され、貧酸素水塊が形成されます。貧酸素水塊中では、底質中の硫黄化合物の還元が促進され、次第に水中への硫化水素の蓄積が進みます。このような水塊が風などによって表層まで湧き上がると、含まれていた硫化水素が酸素と反応して硫黄のコロイドを大量に生成します。コロイドは、太陽光を反射して海水を乳青色や乳白色に変色させます。青潮も赤潮と同様に水生生物の大量死を引き起こすなど、生物に被害を与えます。東京湾ではアサリの大量死が起こることもあります。



写真：羽田沖（平成16年8月18日）



写真：千葉港（平成23年8月30日）

・貧酸素水塊（水質指標キーワード：DO）

生物に影響を及ぼすほど酸素の濃度が低くなった水塊のことです。境界値についてはさまざまな指標がありますが、水産用水基準においては 4.3 mg/L が「底生生物の生息状況に変化を引き起こす臨界濃度」とされています。また、環境省が告示する生活環境の保全に関する環境基準において、生息段階において貧酸素耐性の低い水生生物が生息できる場を保全・再生する水域又は再生産段階において貧酸素耐性の低い水生生物が再生産できる場を保全・再生する水域の基準は 4.0 mg/L 以上、生息段階において貧酸素耐性の低い水生生物を除き、水生生物が生息できる場を保全・再生する水域又は再生産段階において貧酸素耐性の低い水生生物を除き、水生生物が再生産できる場を保全・再生する水域は 3.0 mg/L 以上とされています（詳しくは、<https://www.env.go.jp/kijun/mizu.html> をご覧ください）。



## 12. 問い合わせ先等

### (1) 問い合わせ先

本資料の内容や東京湾環境一斉調査についてのお問い合わせ・ご意見は、下記連絡先までお願いします。

- 東京湾再生推進会議モニタリング分科会事務局  
海上保安庁海洋情報部大洋調査課 03-3595-3635  
環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室 03-5521-8319
- 九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会  
令和4年度幹事 埼玉県環境部水環境課 048-830-3081
- 東京湾岸自治体環境保全会議  
令和4年度幹事 千葉県環境生活部水質保全課 043-223-3816
- 東京湾再生官民連携フォーラム  
東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム 03-5157-5235

### (2) 情報掲載先

東京湾環境一斉調査の報告書は東京湾環境一斉調査 WEB サイトに掲載しています。また、調査結果を分かり易くまとめた「東京湾環境 MAP」を国土技術政策総合研究所 WEB サイトにて掲載しています。

東京湾環境一斉調査の観測データは、東京湾環境情報センターから入手することができます。

- 東京湾環境一斉調査 WEB サイト  
[https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB\\_Renaissance/Monitoring/General\\_survey/index.htm](https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/Monitoring/General_survey/index.htm)
- 国土技術政策総合研究所 WEB サイト（東京湾環境マップと事例集に関する情報）  
<http://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/kenkyu/map-sympo.html>
- 東京湾環境情報センター（国土交通省関東地方整備局港湾空港部横浜港湾空港技術調査事務所）  
<https://www.tbeic.go.jp/>

### (参考)

- 東京湾再生推進会議 WEB サイト  
[https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB\\_Renaissance/index.html](https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/index.html)